

第30回松本市平和祈念式典・平和の集いの反省等まとめ

1 反省及び感想等について

(1) 第30回松本市平和祈念式典

・献呈を含め、昨年より多くの市民の皆様に参加いただけたことは、体験を通じた語り部を失いつつある今日、戦争を知らない世代に語り継いでいく使命においては有意義な事でした。

唯一の被爆国にあって、戦後80年の節目の年での開催となりましたが、広島、長崎だけではなく、様々な機会をとらえつつ、全国各地域で自治体を中心とした取り組みは今後も必要不可欠な課題であると思います。全世界で紛争をなくし、恒久平和の実現に向けた働きかけはすでに21世紀の現代にあっては地球規模で努力を重ねていく必要があります。

・短い時間の中で簡潔に挙行でき良い式典であったと感じています。

・平和について語り継いでいくことの必要性大切さを改めて感じました。暑さ対策がよく出来ていて、ありがとうございました。

・はじめて参加させて頂き、あがたの森青空の下、皆さんが折った千羽鶴なびく貴重な時間でした。小・中学生の作文、広島平和式典に参加されたこと、大変よかったです。

・良かった。

・広島の式典では「平和への誓い」で、小学生が、二度と戦争を起こさないためには思いやりの心が大切、というようなことを言っていたと思います。平和を守るために、ジェンダーや障がい者がそのことによって排除されない、真のインクルーシブな社会の実現が求められていると感じました。

・ウクライナでの戦争、ガザでの戦争等世界中で悲惨な紛争が絶えない現在、多くの皆さんに平和の尊さを啓蒙する意味でもこの平和祈念式典は今後とも大切にしていきたいと思います。今後とも機会があれば参加したいと思います。

・市全体で平和を推進するために、この式典は重要で今後も実施が望まれます。時間は短いながらも厳かなセレモニーで良いと思います。

・式典時間等も適正であり問題なかったと思います。屋外冷房機の設置があっても良いと感じました。

・当日、テントの下でも、とても暑かったです。皆さん熱中症になってしまわないか心配でした。市役所の職員の方々は、早い時間から暑い中の準備や片付けまで、本当に大変だったかと思います。臥雲市長のメッセージはとても心に響きましたし、学生さんのメッセージも本当に貴重なメッ

セージでした。式典の内容、とても素晴らしい、意味のある集会であると感じました。

- ・暑い中でしたが、大勢の来賓、参加者がいらっしゃり盛大に開催できていたと思います。
- ・今後も大事にしていきたい式典だと考えます。内容は良いと思います。

(2) 平和の集い

- ・毎回、講演テーマや出演者の選定にはご苦労があろうかとご推察いたします。今回においては講堂でのマイク音量等の影響か、ところどころ聞き取りにくい場面があり、音響効果の改善が必要だと思いますが、継続的な講演を望みたいところです。
- ・講演された方の音声が聞き取りづらい場面があったので、マイクボリュームの調整を望みます。内容は大変良かったかと思います。
- ・参加人数が減っていたのが残念でした。
- ・戦後 80 年、賞状だけ渡し、子ども一般の人の話が聞けず残念でした。作家きむらけんさんの話は、浅間温泉での特攻隊員が松本から飛び立ち、知らないことが多かったので、聞けてよかったです。
- ・印象に残っていない。松本地域の戦前、戦中、戦後の話を聞きたい。
- ・特攻隊にスポットがあてられていたことがよかったです。
- ・祈念式典と同様今後も継続し、特に若者に対する平和についての学習の場としていただきたい。
- ・戦争におけるこれまで知らなかったことを学べる良い機会です。多くの市民が参加すると良いと思います。
- ・会場、講演ともに問題なく良かったと思います。
- ・毎年、どのような方を招いて集会をするか、悩まれるところと思います。松本市のユースのチームの方々が司会や表彰式を担当されたこと、とても素敵でした。今回の講演会の内容は、興味のある方々にとっては聞き入るお話だったかと思いますが、同席されている子どもたちや、全員には難しさもある講演だったかと感じました。「～については、記録が残っていないからわからない」という言葉が多く、平和について考えるメッセージというよりは、講演者の研究発表のような印象を受けました。
- ・例年、松本市 PTA 連合会が司会を務めていたとお聞きしていましたが、今年は学生になり、学生の方が参加者からの受けもいいと思いました。また、委員の負担軽減のためにもいいと思います。委員の仕事が片付けだけになり、負担は軽減ですが、このためだけに委員会は必要なのかが疑問で

す。委員会自体の廃止も検討の余地かと思います。

・戦争体験された方々の講演も貴重ではありますが、平和の伝承といった視点から、例えば集いに関わっていた高校生らによる平和学習の学びの発信など、若い方々が主体となる集いも考えていきたい。

2 来年度開催へ向けての意見等について

(1) 平和祈念式典・平和の集いの内容について

・集いにおけるテーマ・講演者の選定に負担感があると思いますが、従来通りの運営を良とします。

・良好であったと思います。

・今年度同様で良いと思います。

・子供たちの平和への願い戦没者の尊い命の上に築かれていることを決して忘れないで欲しい。強いて言うなら、最後に皆で平和への歌を歌いたかった。

・戦前にも反戦の声があったはず。その声はどのように圧殺されたのか。本土空襲、特攻、原爆を落とされてもなお本土決戦を叫ぶ心理。本当に「人間の愚かさを見くびってはいけない」のか。希望はどこにあるのか？

・継続していくことが大切だと思う。

・もう少し多くの市民の皆さんに参加していただければとおもいます。もう少し広報の仕方に工夫があってもいいのではないか。

・松本市が平和都市宣言を行っている以上、この行事は継続すべきです。会場はあがたの森でなく、市民芸術館として式典から講演まで通して行うのが良いと思います。

・平和祈念式典の可能であれば時間が短縮できればとは感じましたが、次第から考えるとこれ以上は無理なのかなと思いました。

・来年度も同じ日に行うのであれば、平和像の前で行う重要性も承知の上ですが、暑さの心配から、可能であれば、講堂の中で行っても良いかと感じます。大人もですが、中学生や小学生がテントの下でも汗だくになっており、体調が悪くならないか心配でした。また平和のメッセージの発表は日差しを受けながらでとても大変そうに感じました。

平和の集いの内容ですが、表彰式はぜひ続けて行って頂けたら嬉しく感じます。講演会は、戦争体験や戦時中のことを聞くことを目的とするのではなく、平和や愛をテーマにした内容へフォーカスしても良いと感じます。松本市には合唱団がいくつかあると思いますし、松本市の中学校や高校の合

唱部を招いて、平和や愛をテーマにした歌を歌って頂き、平和のありがたさや他者に思いやりを持つことの大切さに思いを馳せることができたら、平和の集いとしての目的が果たせるのではないかでしょうか。

お盆の時期ですので、多くの家族が帰省したりしますので、学校の生徒さんたちへ依頼をするという形よりも、歌ってくださる方々を募集するという方向でも良いかと思いました。

(2) 実行委員会の運営について

ア 今年度の見直し(当日役割の廃止、実行委員会開催回数を3→2回へ)

・当日役割の廃止にあっても来場者への影響や混乱もなく、スムーズに誘導ができていたと理解していますが、担当課での負担に影響はなかつたでしょうか。式典や集いを開催するにあたり、担当課において業者・講演者への依頼・打合せなど、企画運営準備を担っていただいている状況を鑑み、実行委員として携わる業務は限られています。運営内容の確認を含め、従来通りの運営方法で良いと考えます。

・担当者の方は、駐車場の整理等で大変だったかと思いますが、当日の役割も簡略化され、実行委員会の開催回数も減り実行委員としてはありがたく感じました。お疲れ様でした。

・委員の負担軽減を考えていただきありがとうございました。とてもスムーズでした。市の関係の方々に感謝です。

・スマホでリモートと言っても書くこと出来ない。

・実行委員会は不要と考える。

・よかったです。

・委員会構成のメンバーを見ると多様な分野から委員を選出していますので、多くの市民の皆さんに平和祈念式典を周知する意味でも委員会を存続してください。

・直前の実行委員会を開催せずに実施した式典でしたが滞りなく開催できたと思います。できるかぎり簡素化した当日の体制については評価できるものです。

・実行委員の負担軽減が図られ見直しの効果があったと思います。

・今年度は実行委員の負担を考慮してください、市役所の職員の方々は誘導や受付や準備、片付け等、とても大変だったかと思いますが、私としてはとても助かりました。書面報告もとてもありがたい方法でした。

・片付けだけが主な仕事だったので、委員会として必要なのか疑問に思った。また第1回目の委員会も特に発言がないようなら、必要であれば

zoomでもいいと思う。

・当日、簡単なお手伝いで済みありがたかったですが、これで課題がないようでしたら引き続きこの方向でお願いしたいです。

イ 実行委員会のあり方（継続・解散等）について

・時代変化はあるものの、各分野の団体で構成する実行委員会は必要と考えますが、曜日、時間帯設定の工夫も一考かと思います。また、担当課単独で企画運営準備が整えられるのであれば、実行委員会は必要ないのかも知れません。

・新しく担当される方の意見も汲むことができるのでご負担でなければ、継続で良いかと思います。

・各団体での平和祈念式典への参加、折鶴での取り組みに変えてよいと思います。

・実行委員会という形式は不要だが各界の代表者は式典に出席すべき。

・委員として意識が広がると思うから、今年度の方式で継続すべきだと思います。

・実際の式典への運営協力よりは多くの市民のみなさんへの広告塔として協力頂きたい。実際の委員会開催等は本年度の開催回数でいいとおもいます。

・当初の開催趣旨として市全体で取り組むという姿勢があったため、各方面の代表者による実行委員会形式で行ってきたものと解します。この趣旨からすれば、現体制による開催を維持し、簡素化できるところは更に取り組むことで良いと思います。

・今年度の運営方法であれば、委員の負担もなく設置は可能であると考えます。

・今年度、所属団体からは、理事さんの負担軽減の目的で、折り鶴の数を少なくさせて頂きました。ご理解ください、ありがとうございました。実行委員としては、今年度、特に役割がなく参加させて頂きましたし、内容もすでに職員の方々で十分に計画してくださっていました。実行委員会の開催や、書面報告の送付も、大変お手数のかかることだと思います。市役所の職員の方々にお任せさせて頂けるのであれば、今年度をもって解散、または近い将来に解散が望ましいと感じます。

お盆の時期ですので、人によっては帰省したいタイミングであったり、また親戚が家に集まる時であると思います。日にちとして変更することはないと思いますが、お盆の時期に母または父が集会に参加することがとてもハードルが高く感じる方もいらっしゃるので、来年度、所属団体

から必ず参加できるとも申し上げられません。もしかしたら来年度の担当者によっては、参加を辞退させて頂く相談があるかもしれません。

色々と申し上げてしまいましたが、このような機会に参加させて頂き、とても勉強になりました。ありがとうございました。